

令和3年度 第1回 福岡県循環器病対策推進協議会

福岡県がん感染症疾病対策課
疾病対策係



福岡県広報部長 エコトン

2021年8月31日(火) 16時30分～17時30分 WEB開催

次 第

1 開会

2 がん感染症疾病対策課長あいさつ

3 協議会長あいさつ

4 協議事項

(1)福岡県の循環器病の現状について…………… P1～P10

(2)福岡県循環器病対策推進計画骨子(案)について…… P11～P19

5 今後のスケジュール(案)について…………… P20

6 閉会

別添資料

- 1 福岡県循環器病対策推進協議会委員名簿……………資料1
- 2 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の
循環器病に係る対策に関する基本法……………資料2
- 3 循環器病対策推進基本計画……………資料3

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

①死亡原因等に関する現状

● 年齢調整死亡率

- ・本県の循環器病(脳血管疾患、心疾患)の年齢調整死亡率は、男女とも全国平均と比べ非常に低くなっている。

(単位：人口10万対)

項目		全国	福岡県	順位
脳血管疾患	男	37.8	33.6	6
	女	21.0	17.7	4
心疾患	男	65.4	42.3	1
	女	34.2	23.9	1

順位は、指標毎に良い順番で記載

【人口動態特殊報告(平成27年都道府県別年齢調整死亡率)】

4 協議事項

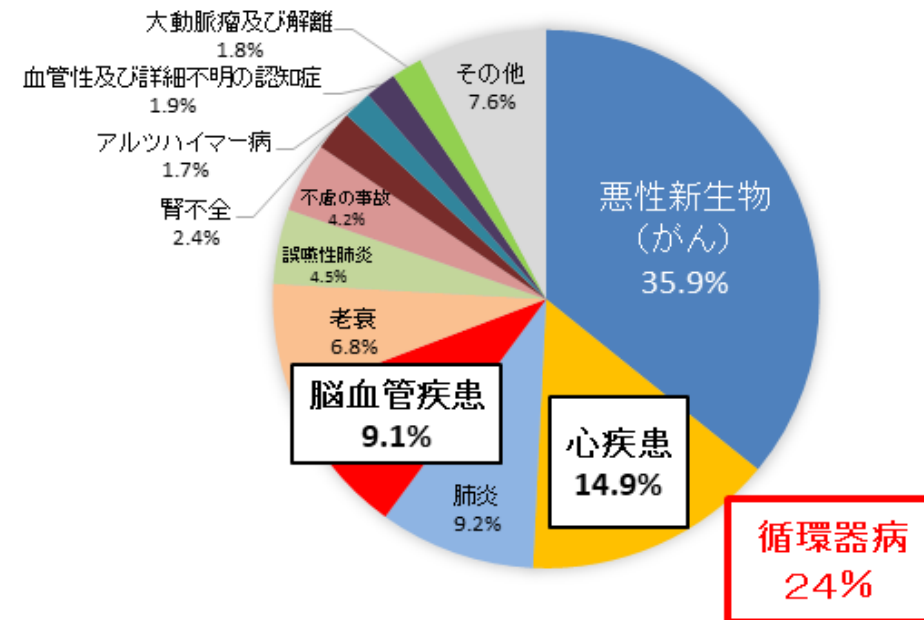
(1) 福岡県の循環器病の現状について

● 主要な死亡原因

- ・本県における死亡原因内訳は、全国平均とほぼ同様に悪性新生物(がん)に次いで、循環器系疾患が全死亡原因の第2位であり、本県では24%を占めている。

項目	全国	福岡県
脳血管疾患	7.9%	9.1%
心疾患	15.3%	14.9%
合計	23.2%	24%

【平成30年度人口動態統計調査】



【本県の死亡原因内訳】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

②健康及び予防に関する現状

● 健康寿命

- ・本県の健康寿命は、全国平均と比べて短くなっている。

項目		全国	福岡県	順位
健康寿命	男	72.1年	71.5年	41
	女	74.8年	74.7年	31

【厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」都道府県別健康寿命（2016年）】

● 健診の受診率等

- ・本県の健診受診率や特定健診受診率は、全国平均と比べて低くなっている。
一方で、特定保健指導実施率は全国平均と比べて高くなっている。

項目		全国	福岡県	順位
健診受診率	男	77.2%	76.7%	25
	女	69.7%	68.2%	37
特定健診受診率		54.4%	50.5%	34
特定保健指導実施率		23.3%	25.4%	22

【令和元年国民生活基礎調査】

【平成30年度厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

● 喫煙率

- ・本県の喫煙率は、全国平均と比べて男女とも高くなっている。

項目		全国	福岡県	順位
喫煙率	男	28.8%	31.9%	41
	女	8.8%	9.3%	37

【令和元年国民生活基礎調査】

● 脂質異常症患者等の外来受療率

- ・本県における脂質異常症患者の外来受療率は、全国平均と比べて非常に低くなっているが、高血圧性疾患患者及び糖尿病患者の外来受療率は、全国平均よりも高くなっている。

項目	全国	福岡県	順位	(単位：人口10万対)
脂質異常症	64.6	46.2	4	
高血圧性疾患	240.3	248.0	24	
糖尿病	95.2	122.2	43	

【平成29年患者調査】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

● メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合

- ・本県におけるメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合は、全国平均と比べて若干高くなっている。

項目	全国	福岡県	順位
メタボリックシンドローム	26.2%	26.6%	26

【平成27年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ】

● 食塩摂取量

- ・本県における1日の食塩摂取量は、全国平均と比べて男女ともに高くなっている。

項目		全国	福岡県	順位
食塩摂取量の平均値 (20歳以上)	男	10.8g	11.7g	44
	女	9.2g	9.5g	40

【平成28年度国民健康・栄養調査】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

● 歩数の平均値

- ・本県における1日の歩数の平均値は、全国と比べて男性は少なく、女性は多くなっている。

項目		全国	福岡県	順位
歩数の平均値 (20-64歳)	男	7,779歩	7,474歩	22
	女	6,776歩	7,155歩	8

【平成28年度国民健康・栄養調査】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

③医療提供体制の現状

● 医師

- ・本県における循環器病に関わる医師数は、全国と比べて多くなっている。

(単位：人口10万対)

項目	全国	福岡県	順位
循環器内科医師数	10.0	15.2	1
心臓血管外科医師数	2.5	3.0	10
神経内科医師数	4.1	5.1	10
脳神経外科医師数	5.9	6.9	12

【平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

- 救急要請(各地)から医療機関への収容までに要した平均時間
 - ・本県における救急要請から医療機関への収容までに要した平均時間は、全国平均と比べて非常に短くなっている。

項目	全国	福岡県	順位
救急要請から医療機関への収容までに要した平均時間	39.3分	30.7分	2

【平成30年版 救急救助の現況】

- 脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数
 - ・本県における脳梗塞に対するt-PA(※)による血栓溶解法の実施件数は、全国平均と比べて非常に多くなっている。

項目	全国	福岡県	順位
実施件数(算定回数)	8.1回	13.6回	6

※t-PA(アルテプラゼ):脳の血管に詰まった血栓を溶かすことで、脳血流の改善が期待される薬

【厚生労働省「NDB (National Data Base)」 (平成29年度診療分)】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

④循環器病患者の現状

● 受療率

- ・本県の循環器病(脳血管疾患、心疾患)の受療率は、全国平均と比べて入院が高くなっており、外来が低くなっている。

(単位：人口10万対)

項目		全国	福岡県	順位
入院	脳血管疾患	115.0	148.0	33
	心疾患	12.0	16.0	39
外来	脳血管疾患	68.0	46.0	5
	心疾患	44.0	37.0	12

【平成29年患者調査】

4 協議事項

(1) 福岡県の循環器病の現状について

● 退院患者の平均在院日数

- ・本県における退院患者の平均在院日数は、全国平均と比べて脳血管疾患及び心疾患ともに長くなっている。

項目	全国	福岡県	順位
脳血管疾患	78.2日	82.0日	30
心疾患	19.3日	20.6日	25

【平成29年度患者調査】

● リハビリテーションの実施件数

- ・本県におけるリハビリテーションの実施件数(算定回数)は、全国平均と比べて脳血管疾患及び心疾患ともに多くなっている。

(単位：人口10万対)

項目	全国	福岡県	順位
脳血管疾患	83,762	101,769	16
心疾患	3,873	7,574	2

【厚生労働省「NDB (National Data Base)」 (平成30年度)】

(2) 福岡県循環器病対策推進計画骨子（案）について

第1章 計画策定の趣旨等

1 計画策定の趣旨

- 脳卒中、心臓病その他の循環器病（以下「循環器病」という。）は、我が国の主要な死亡原因であり、平成30（2018）年の人口動態統計によると、心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位であり、両者を合わせると、悪性新生物（がん）に次ぐ死亡原因となっており、年間31万人以上の国民が亡くなっています。
- こうした現状に鑑み、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進するため、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（以下「法」という。）が令和元（2019）年12月1日施行されました。
- また、国は、法第9条第1項に基づき、「循環器病対策推進基本計画」（以下「基本計画」という。）を令和2（2020）年10月27日に策定し、「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」及び「循環器病の研究推進」の3つの目標を達成することにより、「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指すこととしました。
- 本県では、このような状況を踏まえ、法第11条第1項に基づき、国の基本計画を基本とするとともに、本県における循環器病に係る状況を踏まえ、「福岡県循環器病対策推進計画」（以下「県計画」という。）を策定します。

4 協議事項

(2) 福岡県循環器病対策推進計画骨子（案）について

2 計画の位置づけ

- 県計画は法第11条第1項の規定に基づく都道府県循環器病対策推進計画であり、本県の循環器病対策の基本的な方向性を示すものです。
- また、本県の行政運営の指針である「福岡県総合計画」に掲げられた「福岡県が目指す姿」の「6 誰もが元気で健康に暮らせること」を推進するための個別計画として位置づけます。
- その実施にあたっては、福岡県保健医療計画や福岡県健康増進計画等との調整を図り、かつ連携しながら、本県の循環器病対策を推進します。

3 計画の期間

- 令和3(2021)年度から令和5(2023)年度まで(3年間)

第2章 本県における循環器病の状況

- 1 循環器病の罹患状況
- 2 主な死亡原因
- 3 県民の健康（健康寿命）
- 4 人口推計

第3章 基本方針

1 全体目標

- 国の基本計画を踏まえ、次に掲げる基本施策に取り組むことにより、「2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指します。

2 基本施策

- (1) 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- (2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
- (3) 多職種連携による循環器病患者への支援の充実

第4章 個別施策

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

(1) 生活習慣病の発症、重症化予防の取組の強化

①生活習慣病の予防の推進

(高血圧、脂質異常症、糖尿病等の予防の推進、減塩に関する取組、歯科口腔保健の推進など)

②特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上等に向けた取組

(特定健康診査受診率向上のための総合的な取組、特定保健指導の効果的な実施など)

(2) 循環器病に関する正しい知識の普及啓発

(早期受診の推進(循環器病の前兆及び症状、発症時の対処法等の啓発))

4 協議事項

(2) 福岡県循環器病対策推進計画骨子（案）について

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 救急搬送体制の整備

（病院前救護体制の充実、救急医療情報システム、患者の重症度に応じた救急医療体制の確保など）

(2) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築

① 脳卒中に関する医療提供体制

（急性期から在宅医療に至るまでの継続的支援など）

② 心血管疾患に関する医療提供体制

（急性期から在宅医療に至るまでの継続的支援など）

③ 医療従事者等の人材確保及び育成

（介護職及び看護職の養成、離職防止・定着、再就職支援など）

④ 患者の状態に応じたリハビリテーションの提供や適切な緩和ケアの推進

（福岡県障がい者リハビリテーションセンター、医師等に対する緩和ケア研修会、地域在宅医療支援センターなど）

4 協議事項

(2) 福岡県循環器病対策推進計画骨子（案）について

(3) 在宅療養等が可能となる環境の整備

（地域包括ケアシステムの構築、かかりつけ医等の機能の充実と各専門職による支援など）

(4) 小児期から成人期までの成育過程を通じた循環器病対策

（福岡県小児救急医療電話相談事業、福岡県小児救急医療ガイドブック、福岡県難病相談支援センターなど）

4 協議事項

(2) 福岡県循環器病対策推進計画骨子（案）について

3 多職種連携による循環器病患者への支援の充実

(1) 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

（医療機能情報の提供、医薬品等に関する相談対応、医療安全支援センター（医療相談支援センター）、救急医療情報システムなど）

(2) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援

（高次脳機能障がい支援事業など）

(3) 治療と仕事の両立支援・就労支援

（障害者就業・生活支援センター、障がい者雇用拡大事業（職業紹介）など）

4 協議事項

(2) 福岡県循環器病対策推進計画骨子（案）について

第5章 循環器病対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1 推進体制
- 2 各団体の役割
- 3 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策
- 4 循環器病対策の進捗状況の把握及び評価
- 5 計画の見直し

5 今後のスケジュール（案）について

